

牟呂の歴史探検

1 三ツ山一号墳

三ツ山一号墳は、この東三河地方では数少ない埴輪をめぐらした前方後円墳である。坂津の三ツ山児童公園内にあり、古墳の上には忠魂碑が建っている。

古墳から台地の端までの距離は50mほどで、後円部を南東に向けて造られている。遺物から築造年代を推測すると5世紀後半と考えられる。前方後円墳としては33m前後とこの地方としては一級の規模の墳丘で、推定百個体ほどの埴輪を立てめぐらし、周囲には周溝をめぐらしている。



2 牟呂王塚古墳

市場にある王塚天王社の境内地にある。宅地造成により封土は削りとられ、宅地化されているため昔の古墳の姿をとどめていないが、祠（ほこら）が古墳の上に建っている。

古墳は横穴式石室を有する円墳で、副葬品には埴頭（けいこう）大刀・杏葉（ぎょうよう）・銅鈴や坐金などの馬具類、装身具の金環、

玉類などがある。古墳の墳形や規模は、周溝の一部から推定し、全長40m前後の前方後円墳と推定復元されている。築造年代は、6世紀末から7世紀初頭と考えられる。

3 内田貝塚・若宮遺跡

牟呂町坂津で、現在発掘調査が行われている。豊橋市の市街地がある台地が南西に向けて突き出た所に牟呂の集落がある。三方を海や川に囲まれた牟呂には、縄文から江戸時代の貝塚や遺跡がある。

貝塚から出土した貝の種類はハマグリを主として少量のマガキ、アカニシを含んでいる。



牟呂小 林茂男：参考文献「牟呂史」

(平成18年7月31日撮影)